

# 会員建築作品紹介

TOTSUKA  
**PALLSO** 戸塚パルソ  
TOTSUKA PALLSO

## 3号棟「加藤ビル」

### ■計画概要

用 途：店舗・診療所  
構 造：鉄骨造4階建  
建築面積：156.15㎡  
延床面積：604.41㎡

旭町通りと言われた通りに面して、ほぼこの場所で永い間野菜や果物の小売りをしてきた八百屋が地権者であり、この場所で再開していることを市民に知らせたいとの強い要望を見据えて建物の設計が進められた。開発前は旭町通りに面した角地に位置して、広い間口を最大限利用して繁盛していたが、この計画する敷地の間口は約5間でかなり小さくなる。2階は戸塚駅から繋がる歩行者通路であり、バスターミナルと同一高さにあるデッキが広く開放され

横浜支部 (有)森山建築設計事務所 森山 恒夫

ている。そのために1階のレベルでは、デッキの柱が大きく立ちはだかることが計画をしている内に判明する。さらに、隣地には大型スーパーが出店することが決まり、小さな店舗は対面販売と新たな手法を編み出して、活路を求めざるを得ない。この考え方がベースとなってエレベーターや階段などのコアスペースの位置が確定した。

目一杯間口を利用して完成した建物は、多くの人々が店の前を行き来し店を覗いて、新鮮な野菜や果物を品定めしている。繁盛して欲しいと願ってやまない。

2階から4階まではテナントビルであり、医療関係の業種が入居を決めた。

高さ規制は当然ながら守る必要があり、色彩の統一・アクセントカラーの導入などが提案され、各棟がそれぞれ持ち寄った案が議論されていく。「ゆるやかな統一」という概念ができあがり、まちづくりへの寄与を意識して建物は完成した。

3



3号棟八百屋と吹抜けを通して見た上部



3号棟立面図